



<http://hacchi.jp>

vol.27

このまちがもっと、このまちらしく輝くためのソウゾウ開化…

「はっち」が贈る、おいしい情報。

江戸の芥川賞作家・三浦哲郎

ユタとふしぎな仲間たちのモデルになった人物とは

江戸ブックセンター

ブックセンターのいろいろ

はっち特派員だより・こどもはっち・市制施行88周年・はちのヘスケーターズ

苦手な読書を克服する・読み聞かせ・市制施行88周年のイベント紹介・88ストーリーズ

hacchi event program イベント情報

*■はっちプロジェクト DASHIJIN(だしじん)

①はちのヘスケーターズが取材した
88 ストーリーズ展示会
4月28日(金)～5月21日(日)
9:00～21:00 (※初日4月28日は10:00から)
市民記者「はちのヘスケーターズ」の皆さんが、取材して物語に
編み上げた、88の江戸ストーリーズの展示です。

②88(ばちばち)トーク 4月30日(日) 14:00～16:00

十日市秀悦さんを進行役に、88 ストーリーズができあがるま
でのお話を取材に関わった市民記者「はちのヘスケーターズ」
の皆さんの言葉で伝えます。
出演：十日市秀悦さん、鎌田高広さん、吉川由美さん、
「はちのヘスケーターズ」のみなさん(高森栄子さん・
橋本淳一さん・石屋知里さん)

■岡林信康 弾き語り LIVE

5月12日(金) 19:00～21:00(開場 18:30)
フォークの神様・岡林信康、31年ぶりの江戸 LIVE!
入場料：5,000円
問合せ：フラット 0178-44-3898

■上賀茂流真多呂人形 藤乃会 作品展

5月26日(金)～5月28日(日)
10:00～17:00 (※初日14:00から、最終日16:00まで)
いけばなを飾った会場で、えんぶり人形のほか雛人形や五月人
形、歌舞伎をテーマとした木目込人形を展示。
問合せ：藤乃真楽艶 0176-51-1367

■江戸ワインフェス 2017

5月28日(日) 12:00～19:00
各国のワインが大集結!
入場料：無料(一部有料：テイスティングチケット 4,500円)
問合せ：江戸ワインフェスティバル実行委員会事務局
リストランテ澤内 0178-22-7638

*■和日カフェ～日本文化に親しむ日～

4月16日(日)・5月21日(日)・6月18日(日)
4月はお茶席やいけばな体験、5月は高校生による若手神楽公
演など盛りだくさん! 6月も和の体験をはっちでどうぞ。

*■はっちのGW

①帰ってきた大木ハルミ
s a k u r aキャッチキャッチライブ!
5月3日(水・祝)・4日(木・祝) 4:00～
昨年のGWに緊急ライブを敢行したシンガーソングライ
ター大木ハルミが、パワーアップして帰ってきた。迫力の
ライブを開催。

②【美術館まつり連携】 「森の映写会☆噂のVR体験もできちゃう!」 プレイベント 5月3日(水・祝) 10:00～17:00

新美術館建設のために解体される現美術館にメッセージを
送ろう! 寄せられたメッセージは5月4日(木・祝)開催
の「美術館まつり」で投影される映像作品に登場します。
また、VR(バーチャルリアリティ)体験や、過去にはっち
壁面に投影したプロジェクション・マッピング作品を視聴
できるコーナーもあります。

③【美術館まつり連携】 「森の映写会☆噂のVR体験もできちゃう!」 アーカイブ展 5月4日(木・祝) 10:00～17:00

「美術館まつり」のサテライト展示やワークショップアーカ
イブ映像や過去にはっちで開催したプロジェクションマッ
ピングの関係映像を一挙に上映します。

④ゴールデンウィークに親子で オリジナルパフェをつくろう! 5月3日(水・祝)～5月5日(金・祝) ①10:00～ ②11:00～

アイス・フルーツ・クリーム・クッキーなどを自由に盛り付け、
GWに親子でオリジナルパフェをつくろう!
定員：各回5組(親子限定)
申込締切：開催日前日まで

⑤GWスペシャル投げ銭ライブ

5月5日(金・祝) 13:00～17:00
隔週水曜日の夜にはっちで開催している投げ銭ライブが、
子どもの日に特別バージョンに。館内各ものづくりスタジ
オの特別出店もあります。

*が付いているイベントは、はっちの自主事業です。

information 市内施設情報

江戸市美術館

■市制施行88周年記念 江戸市美術館クロージングイベント
「みんなで行こう!!美術館まつり☆」

5/4(木・祝)

フィナーレを迎える美術館
で、8つの芸術ジャンルをか
らめた子どもも大人も楽しめ
る参加型のイベントやワーク
ショップを開催。みんなで美
術館に行こう! ※詳細は、八
戸市美術館へお問い合わせく
ださい。



※写真はイメージです。

③ 9:00～19:00

☎ 0178-45-8338

📍 <http://www.city.hachinohe.aomori.jp/art/>

江戸市博物館

■企画展「新収蔵資料展」

4/29(土)～5/28(日)

平成28年度に寄贈された新しい収蔵資料を紹介。
土器や刀剣、こけし、儀礼服といった考古、歴史、
民俗各分野の新収蔵資料のほか、南郷歴史民俗資
料館の新収蔵資料も併せて展示します。



刀 銘「米沢住義英」

③ 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

📅 5月8日・15日・22日

☎ 0178-44-8111

📍 <http://www.hachinohe.ed.jp/haku/>

江戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

■春季企画展

「掘り day はちのへー平成28年度発掘資料展」

4/29(土)～6/25(日)

江戸市では489箇所の遺跡
が確認されており、年間約
50件の発掘調査が行われて
います。平成28年度に行っ
た発掘調査の中で、注目さ
れる成果があった遺跡につ
いて出土品とともに紹介し
ます。



土器に描かれた武士
(江戸城跡出土江戸時代)

③ 9:00～17:00 (受付は16:30まで)

📅 5月8日・15日・22日・29日・6月12日・19日

☎ 0178-38-9511

📍 <http://www.korekawa-jomon.jp/>

hacchi news はっちニュース

■ものづくりスタジオ、新規店舗オープンに向け準備中

はっちには、将来中心街への出店を
目指すクラフト作家や、食のクリエー
ターを応援する「ものづくりスタジオ」
があります。この3月末で中心街へ出
店するため、2店ははっちを卒業しま
した。それに伴い、店舗の入れ替えが
行われ、現在オープンに向けて各店舗

準備中です。4月末には新しい仲間も
加わります。オープンをお楽しみに!
また、新規の入居者(短期もあり)
も随時募集しています。詳しくははっ
ちにお問い合わせ下さい。



NEW
OPEN!!

〈はっち情報発信中!〉

<https://www.facebook.com/hacchi8>

https://twitter.com/hacchi_staff

その他各社新聞、コミュニティラジオ局 BeFM
でも情報発信中です。

street event まちなか情報

■新美術館の建設に向けて、準備が着々と進行中

新美術館の建設に向けた設計者選定
のための公募型プロポーザルが行わ
れ、審査の結果、西澤徹夫建築事務所・
タカバンスタジオ設計共同体が最優秀
者に選ばれました。全国から138者の
応募があり、第二次審査の一環で行わ

れた江戸市では初となる公開プレゼン
テーションの傍聴申込みも受付初日に
定員に達するなど、市内外からの関心
の高さが伺えました。
今後、平成32年度の開館を目指し
て、新美術館の整備が進められます。



※イメージ図は、設計者から提案されたものであり、今後の基本設計において変更となる可能性があります。

江戸ポータルミュージアム「はっち」は
地域の資源を大事に想いながら新しい魅力を創り出すところ。
まちづくり、文化芸術、観光、ものづくり、子育てを軸とした活動を
サポートする多様な設備を備えています。

江戸ポータルミュージアム はっち <http://hacchi.jp>

TEL 0178-22-8228 FAX 0178-22-8808

〒031-0032 青森県江戸市三日町11-1

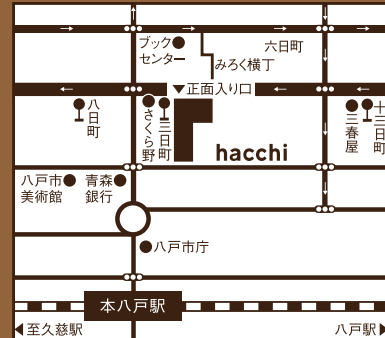
開館時間/9:00～21:00 ※こどもはっち9:30～16:30

休館日/毎月第2火曜日(祝日の場合その翌日)、12月31日及び1月1日

はっちリレーションナルプレス「はっち」vol.27

発行：江戸市まちづくり文化スポーツ観光部 江戸ポータルミュージアム 発行月：平成29年3月

【交通のご案内】
バス/江戸駅東口からバス江戸市中心街方面行き[約25分]
江戸中心街ターミナル(八日町)下車すぐ
JR/江戸駅からJR江戸線本江戸駅下車[徒歩約10分]
航空機/三沢空港から江戸市内シャトルバス[約55分]
フェリー/江戸港フェリーターミナルから車[約15分]
車/江戸駅から車[約20分]
※一般来館者の駐車場はございません。
お近くの有料駐車場をご利用ください。



印刷部数 18,000部 印刷経費 1部あたり 30.78円



『忍ぶ川』三浦哲郎 著 新潮社

大学生の哲郎と、小料理屋「忍ぶ川」の看板娘・志乃の出会いから結婚に至るまでの物語。不幸な境遇で育った二人の純粋な愛は、加藤剛さん、栗原小巻さんによって映画化もされました。

略暦	
昭和6年	八戸市三日町で誕生
昭和30年	「十五歳の周囲」 第2回新潮同人雑誌賞
昭和36年	「忍ぶ川」 第44回芥川賞
昭和51年	「拳銃と十五の短編」 第29回野間文芸賞
昭和58年	「少年讃歌」 第15回日本文学賞
昭和60年	「白夜を旅する人々」 第12回大佛次郎賞
昭和63年	日本芸術院会員となる
平成元年	八戸市民栄誉賞
平成2年	「じねんじょ」 第17回川端康成文学賞
平成3年	「短編集モザイク1 みちづれ」 第2回伊藤整文学賞
平成7年	「みのむし」 第22回川端康成文学賞
平成16年	八戸市名誉市民
平成19年	旭日中綬賞
平成22年	東京都内の病院で逝去

八戸市出身の作家といえば三浦哲郎さんの名を挙げない人はいないでしょう。小説『忍ぶ川』で第44回芥川賞を受賞して以来、八戸市やそれまで住んでいたことのある岩手県二戸市や一戸町を舞台にした多くの作品を生み出しました。彼の作品を語る上で避けて通れないのが家族の話です。

三浦さんは八戸市三日町の丸三呉服店に、両親と2人の兄、3人の姉をもつ6人兄弟の末っ子として生まれました。しかし6歳の誕生日に次姉が入水自殺、同年長兄が失踪、翌年長姉が睡眠薬自殺と、家族に不幸が続きました。



大学生になったその翌年、次兄が失踪してしまい、兄弟は三姉と末っ子の哲郎さんだけになってしまいました。不幸な出来事だけでなく、一家には遺伝性の病氣もありました。長姉と三姉が先天性色素欠乏症（俗に言う白子症）のため、生まれつき身体の色素が薄く、弱視だったのです。目が見えなくても自活できるよう、2人は幼い頃から夢を習わされました。



鷹屋敷雄太郎さん

『ユタとふしぎな仲間たち』のモデルになった人物、鷹屋敷雄太郎さんにお話を伺いました。

「三浦先生との出会い」

私と三浦先生の出会いは私が50歳の時の時だったでしょうが、先生の八戸高校時代からの友人である、故・立花義康さんが開業していた立花歯科医院に通院していたことがきっかけでした。

私がお酒もタバコもやらないと知った立花さんから「自分が車を提供するから、三浦先生の運転手をしてくれないか」と提案があったのです。

「ユタと〜のモデルになったいきさつ」

私と先生は、年が4歳違いという近さからなのか、それとも先生の穏やかな人柄のおかげか、ご主人と運転手という上下関係というよりは、プライベートも一緒に過ごす仲でした。

春は山菜採り、秋はキノコ狩り、冬はキジ射ちなど、よく一緒に出かけました。これらの話は、先生の小説や短編集にも多く登場しています。



『ユタとふしぎな仲間たち』三浦哲郎 著 新潮文庫

父親を事故で失った少年が、東京から母親と2人で東北の村に移り住み、座敷わらしと出会った事でたくましく成長する物語。劇団四季によるミュージカル公演にもなりました。

【八戸出身の作家】	
北村 小松	きりがくれさいぞう「霧隠才蔵」「ふるさと」（ともに八戸が舞台）
阿部 幹	かん「葦毛崎」「おむら」「鯨の神楽」（全て八戸が舞台）
こ かつひろ	呉 勝浩「道徳の時間」（江戸川乱歩賞）
ゆづすけ	木村 友祐「海猫ツリーハウス」（すばる文学賞・八戸が舞台）
【八戸が舞台の小説】	
三浦 哲郎	「十五歳の周囲」「しづ女の生涯」「夜の哀しみ」「白夜を旅する人々」
夏堀 正元	まさもと「愛の痛み」「海猫の襲う日」「青年の階段」「北の墓標」
井伏 鱒二	ますじ「野辺地の陸五郎略伝」
尾崎 ゆみ	「いさばの町」
鈴木 喜代春	「野の天文学者 前原真吉」
中島 京子	「かたづの！」
森沢 明夫	「ライアの祈り」
竹内 俊吉	「海峡」
左館 秀之助	「少年挽歌」「にいだ川」

中心街で三浦哲郎さんを巡る

4「三浦哲郎文学碑」

3「しづ女の生涯」ゆかりの地

2「白夜を旅する人々」ゆかりの通り

1「おりえんたる・ばらだいす」ゆかりの地

7「三浦哲郎誕生の碑」

5「ブレックファースト」ゆかりの地

6下宿場所であり、「笹舟日記」ゆかりの地

八戸市公会堂

八戸市役所

NCビル

ボレスターアーバンシティ番町

八戸グランドホテル

さくら野百貨店

はっち

原稿用紙の上を走るペンの音はなんと気持ちのいいものでしょう。さらさらとしているときは快調な日がつがつとしているときは怒っている日ぼつぼつと途切れるときは悲しい日ぐうーとおながが鳴ったり、寝息やいびきが聞こえたときもありました。それらの全てがわたしにとって気持ちのいいものでした。

身を削るようにして音を生み出してきた万年筆たちも、きつと私と同じ思いでしょう。新しい作品を書き始めるたびに新調された万年筆たち。

仲間がたくさんいて正直いいなとも思いました。でも先生のために誂えられた私は愛を独り占めできたからいいのです。そして、先生が生み出した作品の多くが私の上で生まれたことをとても誇りに思うのです。ペンを走らせる音が消えてしまった今この静かな場所に移り住み、私は昔を思い返します。先生の机に生まれてきた喜びを。



since December 4, 2016

八戸ブックセンター

Shintaro Uchinuma

内沼晋太郎さん
(ディレクター)

ブックセンターは
何を指して
作られた？



八戸ブックセンターの基本方針は、「本を読む人を増やす」「本を書く人を増やす」「本でまちを盛り上げる」の3つです。

その中の「読む人」を増やすための工夫のひとつが、さまざまな読書席です。施設内では、ハンモックに揺られながら読むこともできるし、本の塔にのぼって読むこともできます。気に入った環境での読書から、本を読む楽しさをあらためて感じてほしいと思います。

また、読書会ルームは、四方を本棚に囲まれていて、その中のひとつが実は扉になっています。映画では見られず、実際に体験したことはない、夢のような空間。そこで読書会をする特別な味わえる設計になっています。

「書く人」を増やす取組としては、執筆専用の「カンツメブース」のほか、今後は執筆・出版のワー

クシヨップを予定していて、それらをきつかけに八戸から「書く人」が生まれることを目指しています。

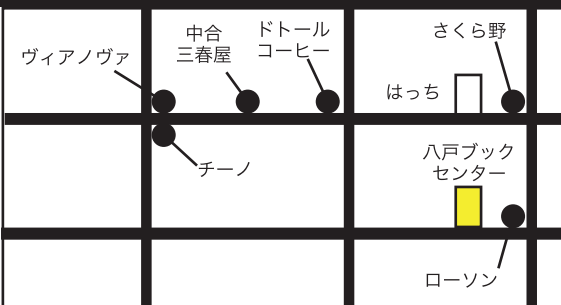
八戸市でこれまで実施されてきた「ブックスタート」や「ブッククラブ」は、乳幼児や児童を対象としてきましたが、「八戸ブックセンター」は、主に大人を対象としています。

子どもに読書を勧めたいという話をよく聞きますが、そのためにはまず大人が読書の習慣をもつことが必要ではないでしょうか。大人が楽しそうに本を読んでいるら、きっと子どもも自然と本に親しんでいくと思います。

これまであまり本を読んてなかった方にも、八戸ブックセンターをきっかけに本に興味をもつていただき、広い世界を感じてもらえれば嬉しいです。

選書
「新たな本との
出会いを提案」

八戸ブックセンター
住所：青森県八戸市大字六日町 16 番地 2
Garden Terrace 1 階
時間：11:00 ~ 20:00
休み：毎週火曜日（祝日の場合その次の日の平日）
12月29日~1月1日
電話：0178-20-8368
HP：https://8book.jp



八戸ブックセンター



読書会ルーム

ブックセンターで企画した会は勿論、一般の方が企画した読書会も行うことができます。収容人数は10人程度。無料で使用できます。



ドリンクホルダー

本棚の脇に
何箇所かある
ので、上手に
使ってね。



カウンター

ここで購入できるのは
本だけでなく、コー
ヒーやビール、ワイン
など。購入したドリン
クを飲みながら本を楽
しむことができます。



ギャラリー

特定の作家や作品に関
する展示や本の印刷
造本、装丁に関する展
示など、さまざまな展
示が企画されています。



本の塔

3mもの高さがあり、
四方を本棚が囲む。中
に入って読書すること
ができる一人分スぺー
ス。



ハンモック

ゆらゆら揺
れながら本を
楽しんでね。



文机

娘に連れてき
てもらいましたが、
初めてですが、
座って本を読め
るので落ち着き
ます。



カンツメブース

「八戸市民作家」として登
録をした方が使用できる。
執筆のための部屋です。
書くことに専念できる「カ
ンツメ」状態になれるま
す。Wi-Fi使用可・無料。



三浦哲郎文机

八戸出身の芥川賞作家・
三浦哲郎さんの愛用し
た文機のレプリカを配
置した読書席です。

セレクト・ブックストア

A

知へのいざない

「世界」「人文」「自然」「芸術」など
新たな知の世界へ誘う本と、その関
連書を扱っています。

B

人生について

生きていく中で避けては通れない普
通のテーマ「生き方」「死」「愛」「仕事」
について扱っています。

C

フェア棚・ひと棚

八戸にゆかりのある方に選書してい
ただいた本や、一般の方が選んだ「私
の本棚」などを扱っています。

D

本のまち八戸

「本」と「まち」をテーマにした本を
扱っています。本の書き方について
の本もあります。



本のまち八戸
「本に親しむ市民を増やす」

八戸ブックセンターの目的

本屋では、目的の本を買う以外
にも、ふと手に取った本との偶然
の出会いがあります。

ブックセンターでは、そういつ
た本との出会いを提供すること
に、執筆ブースを設け、読むだけ
ではなく「書く人」も増やそうと
取り組んでいます。本がもっと市
民にとって身近なものになるよう
に、また本を取り巻く人の交流を
促進することで、まち自体が盛り
まいます。



